

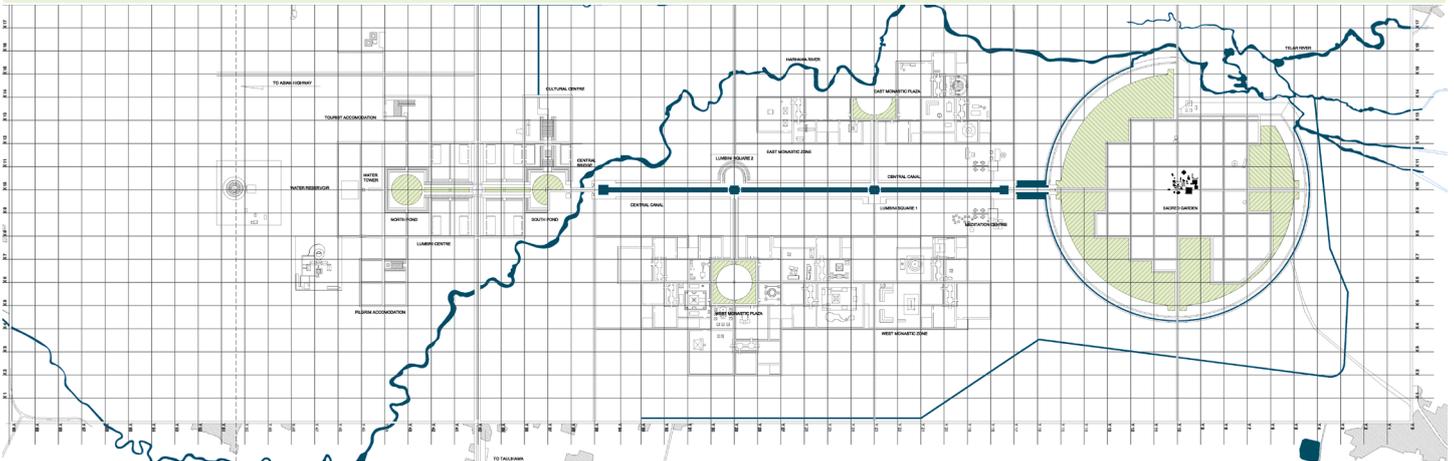
## 研究室創設者の遺志を継いで -ルンビニ PJ 始動! - Take over Kenzo Tange (the founder of UD lab.)'s work -Lumbini PJ starts!

12月28日(金)から1月10日(月)にかけ、ルンビニPJの第1回現地調査が行われました。日本のPJとは勝手に全く違うことからの戸惑い、そして感動をありのままにお伝えします!

This is the lively report of the first field work in Lumbini!

text\_muramoto

プロジェクトの基礎知識  
【ルンビニ】  
ネパールの西部タライ盆地にある小さな村。マヤ夫人は晩年になって出産のため里帰り途中のルンビニ園で沐浴後、北方へ20歩あまり歩き、真っ赤な菩提樹の花に右手を触れた時にブッダが生誕したと言われる。マヤ・テヒ寺院を中心にアシヨカ王が巡礼したときに建立された石柱、釈迦が産湯をつかったという池などが現存。巡礼者で賑わっており、12月から1月にかけてピークを迎える。1997年にユネスコの世界遺産(文化遺産)に「仏陀の生誕地ルンビニ」として登録。1967年国際連合のウ・タント事務総長(当時)の訪問をきっかけに生誕地の周囲を聖地公園として整備する「ルンビニ祝尊生誕地聖域計画」が立案され、1978年に丹下健三がマスタープランを作成し現在もこの計画に基づき整備が進められる。東西に1マイル、南北に3マイル広大な敷地は、南の方に位置するアシヨカ王の柱を中心とする円形の聖なる庭園と、そこから北に延びるセントラルリンクと水路。その両側の寺院地区、そして北に位置する、全体の入口であるルンビニセンターで構成される。(M1 李 峰浩)



▲ 丹下健三先生によるルンビニマスタープラン

## 疲労、焦り、そして感動 Fatigue, Hurry and Impression

D2 傅 舒蘭

昨年の末から今年のお正月にかけて、ルンビニPJメンバーの5人が現地での調査・ワークショップへの参加をしました。今、仏陀の生誕地ルンビニは、1978年に丹下氏が作った最終案に基づき、マスタープランの完成を目指し積極的に動いています。同時に、マスタープランに対する地域の理解不足による不当建築の建設など、マスタープランにそぐわない現状も生まれてきています。そこでこのPJではこれらの問題を解決するため、マスタープランをレビューし、他の専門分野(考古学など)のチームとの協同を通じて、新たなIntegrated Master Planの作成を目指しています。

現地ではさまざまな体験や感動がありました。自転車での調査の後にはお尻が痛み、発電機の「ターター」のリズムを聞きながらの作業には焦り、歩道整備を進める地域の期待に答えるために夜の現場での議論もしました。しかし、仏陀が自分の一切を捨てて修行を決意した遺跡での感動や、基本的なインフラも整備されていない国で生活の厳しさの実感、また現地の人々の生活を見て、都市計画を担う人間としての我々の責任の重さと現地調査による現状を把握する重要性を再認識しました。



▲ 明るい学生たちに囲まれて



▲ 現地調査では自転車が活躍!



▲ 世界遺産の整備・改善提案を行う

# 熱意をプロジェクトの原動力に Change Passion into Energy!

D2 パンノイ ナッタボン

今回の調査とワークショップは順序に進められましたが、唯一チーム一同が窮地に立たされたのは、PJチームが急遽今年3月に竣工する聖地公園内の歩道の代替案を提出することになったことです。できるだけ竣工を始めたいというルンビニ開発機構(LDT)の要望によって、PJチームは一晩で代替案を考えることになりました。突然の出来事でしたが、黒瀬さんのリーダーシップおよびリー君の積極性などによって無事に代替案を完成させ、LDTもPJチームも納得できるものに仕上がりました。

ルンビニPJはネパール国内や海外からの多数のチームとの連携により行われています。各チームが担当する分野や作業は違いますが、どのチームからも「我々が責任を持って、ルンビニをよりよいものにするぞ!」という強い信念とパワーが感じられました。

プロジェクトの規模に関係なく、参加者の「自分が責任を持って実現させる」という熱意がものごとを進めていくものだと思えて実感するとともに、御釈迦様の生誕地で我々がやっているプロジェクトにも人々の賛同を得られ、より良いものが実現できるようにと祈りました。



▲菩提樹の下で祈りを捧げる巡礼者たち



▲発表の準備に熱が入る面々



▲仏陀の生誕した場所を示す誕生石

## プロジェクト報告

### 冬でも熱い、PJへの思い!

Winter is cold, but PJ is very hot!

#### 鞆 TOMO-project プロジェクト

text\_yasukawa

1月12日(水)、GCOE S3部会の報告会が1号館会議室でありました。西村先生、建築の伊藤先生、社会基盤の中井先生を前に緊張しながら、今年度の祭事・生業の調査と茶屋蔵の再生に向けての活動について報告しました。調査・活動の内容や鞆のまちに強い関心を抱いてくださり、鞆のまちを見る視点や今後の活動のあり方等について我々の視野を広げ、深めるような多くのコメントを頂きました。今回得られた示唆を来年度からの活動へつなげたいです。



▲それぞれの調査結果など余すことなく発表!

#### 鹿児島 KAGOSHIMA-project プロジェクト

M1 山重 徹

1月18日(火)・19日(水)の2日間、鹿児島市役所の方々に鹿児島PJの最終報告会のため現地に行ってきました。当日は西村先生もご登壇され、鹿児島の魅力について熱弁をふるわれました。2日目は鹿児島市の南方に位置する喜入町へと赴き、小松帯刀の生家である肝付家の墓地や、進行しつつあるグリーンツーリズムの予定地を訪れ、中心市街地以外の魅力に気付くとともに鹿児島の新たな胎動を垣間見ることのできた2日間でした。



▲64もの提案を市役所の方々に発表!

## Information

### 大田PJ「モノまちラボ」開催!

平成22年度モノづくり観光研究会研究視察発表



「モノづくりのまち大田」の地域資源活用を考えた3PJ(モノづくり体感「ガチャガチャ」・工場の空間提案・まちあるき)が集結!  
もの一た  
たまび

日時: 2/3-2/5 10:00-17:00  
会場: 大田区産業プラザPIO (大田区工業フェア内)

【速報】都市デザイン研 HP が生まれ変わる!?  
続きは web で → <http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/>  
(英語版をクリックすると…!?)

#### 2月の予定

2月1日	修論提出
2月5日	まちづくり大学院ジュリー
2月7日	M1 ジュリー
2月7日	高山PJ 国交省報告会
2月8日・9日	M2 ジュリー
2月10日	D3 江口博士論文審査会
2月13日・14日	鞆PJ 現地調査
2月14日・15日	B4 ジュリー

#### ★ 編集後記 村本 健造

最近良く聴く歌の「やればできるよ できるよやればやるしかないんだから やらなきゃだめですよ」という歌詞に自分の甘さを痛感している今日この頃です。去年の今頃によく聴いていた歌も「ダメな自分を愛せはしない 強く生まれ変われ やると決めたら背伸びはしない カラダ一つでぶち当たれ」という歌詞だったあたりに全く精神的な成長がみられないあたりが悲しいところですが、最近ようやく自分がマイベースだということに気付いたので、今年はマイベースながらも着実に未来を見据えて学生生活残り一年を思いっきり頑張っ、思いっきり楽しんで、存分に満喫していきたいです!…と、昨日演習室に遊びに行って、徹夜で肅々と作業をしている学部生を見て思いました。